

産学連携・知的財産本部から

本学の外部研究費獲得状況

知的財産アドバイザー 中村 邦彦

本学の産学連携・知的財産本部に知的財産アドバイザーとして着任し3か月が経ちましたが、今後の方向性を探るために、現在の本学の産学連携における立ち位置について調べてみました。文部科学省が、国内全大学の産学連携活動の実績をホームページで公開していますので、その中から、医科系単科大学21大学と、産学連携的観点からはほぼ医科系単科大学と思われる東京医科歯科大学、東北医科薬科大学、久留米大学を合わせた24大学を対象として、平成29年度の共同研究費と受託研究費の受入額の実績ランキングを纏めました。

受託研究費受入額（全体）については、表1に示すように、本学は9位という好位置で、受託研究費受入額（民間企業のみ）については、表2に示すようにTOP3の一角を占めており、大変健闘が光ります。

表1. 受託研究費受入額（全体）

順位	大学名	受入額（千円）
1	東京医科歯科大学	2,372,182
2	浜松医科大学	792,060
3	滋賀医科大学	587,535
4	日本医科大学	378,808
5	久留米大学	354,963
9	産業医科大学	204,525

一方、共同研究における受入額では、表3に示すように、本学は15位に留まっています。今後本学として、共同研究を増やすことを目指すか否かは、別に議論されるべきものかもしれませんが、国立大学ではこの数年の間、以下の様な共同研究獲得に向けた新しい動きが見られます。

表2. 受託研究費受入額（民間企業のみ）

順位	大学名	受入額（千円）
1	東京医科歯科大学	162,897
2	和歌山県立医科大学	151,311
3	産業医科大学	143,205
4	京都府立医科大学	74,950
5	浜松医科大学	71,514

表3. 共同研究費受入額（全体）

順位	大学名	受入額（千円）
1	東京医科歯科大学	614,389
2	久留米大学	236,142
3	自治医科大学	145,622
4	兵庫医科大学	145,037
5	札幌医科大学	128,330
15	産業医科大学	57,229

政府は5年毎に「科学技術基本計画」を策定し、現在は第5期（2016～2020年度）が実行されていますが、予算的にはずっと5年間約25兆円で推移しており、政府の累積債務を考慮すると、今後も政府からの研究予算の増額は期待できません。そこで、「日本再興戦略2016」（平成28年6月2日閣議決定）では、企業から大学への研究費の増加を目指すべく、「2025年度までに大学・国立研究開発法人に対する企業の投資額をOECD諸国平均の水準を超える現在の3倍とする」という政府目標が設定されました。文部科学省は大学に対し、組織対組織の連携による企業からの大型外部資金獲得を奨励しており、多くの大学でこれに呼応し、共同研究講座等の大型の共同研究受入体制を整備し、成果を出しつつあるようです。現在、産学連携・知的財産本部では、他大学の取組に等ついて調査を始めているところです。